

梵珠ガイド会通信

2021年10月15日号

自然ふれあい
ボランティアガイド会

■ 梵珠ガイド登山 ～センター 秋のふれあいデー～



◆色づき始めたオオカメノキ(1日目)



◆巨木のブナに触れる(2日目)

9月は、新型コロナウイルス感染拡大のため、センターが閉館となっていました。10月1日より開館となり、10月9日、10日、秋のふれあいデーが開催されました。2日間にわたり梵珠ガイド登山があり、9時から12時までに山頂往復しました。寺屋敷のツタウルシが色づきはじめ、登山道にはハウノキの大きな葉などの落ち葉を踏みしめ、晴天の登山を参加者の皆さんは楽しんだようです。

2日目には、1組、親子で参加され、小学校5年生は初めての梵珠登山となり、巨木のブナに触れたりしながら山頂に辿り着き、無事下山しました。「途中、転んだりしながらも楽しい登山でした」と感想を述べていました。これを機会にまた梵珠山へ足を運んでくれることを期待しています。

担当ガイド

- ・10月9日：木村・工藤
- ・10日：奥崎・須々田

参加者数

- 4名
- 8名



■ 口紅を塗ったような唇をした「クチベニタケ」

ガイド登山の1日目、マンガンの道登山道の1合目過ぎて、2合目の尾根にとりつく前の崖面に「クチベニタケ」を発見。まるで口紅を塗ったような唇の朱色が鮮やかです。クチベニタケは、ブナ、コナラ、シイなどの広葉樹の茂った森林内の草地に接する場所や、土の崖などに発生します。通常のキノコであればカサがあるべき部分に、球形の頭部があるキノコです。その頭部の直径は1.2~1.5cm。頭部の頂にある赤橙色の星形の孢子散布孔が、まるで口紅を塗ったようなことから名付けられた。成熟した個体では、孢子が熟した状態になると口の部分の穴が開き孢子が放出される。因みに、クチベニタケは食用に適さないキノコといわれています。



◆直径1cmちょっとの球形キノコ 見逃さないで！

■ 県下全域にツキノワグマの出没警報発令中！！

10月2日、平川市碓ヶ関久吉の農道で、クマに襲われた可能性の高いとみられる死亡事故が発生したことから、10月4日、県では、県下全域を対象に、ツキノワグマ出没警報を発令しました。

野外で活動する際にはツキノワグマに出会わないよう十分注意しましょう。クマ情報の詳細については、青森県庁ホームページを参照して下さい。

梵珠山でもクマの糞が発見されたり、目撃された事例もあることからクマよけの鈴をつけたり対策をしましょう。

ガイド会でクマよけスプレーを準備しましたので、行事の際などに携行してください。事前にトリセツを読みましょう。

*先般、梵珠アカゲラの道でストックを利用して下山中の方が転倒し、センターで応急処置できないようなケガとなり救急車を呼ぶ事例が発生。ストック利用時には手袋を使用するよう留意したい。



■ ガイド会活動日誌

月 日	行事内容	サポート担当ガイド
・7月3日	センター主催「岩木山登山」	鈴木・木村
・8月29日	センター主催「八甲田登山」	日下（講師）・木村